

J-クレジット登録簿システム										申請日		平成		XX		年		XX		月		XX		日																					
無効化申請書										申請した日付を記入してください。																																			
保有している口座番号を記入してください。(※入力必須)										口座情報																																			
口座番号										J	P	-	1	0	0	-	2	0	0	0	0	0	0	0	1	-	1	2	3	4	5	-	0	0	ユーザーID	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
法人情報										法人情報																																			
項目名										記入欄																																			
法人名(システム登録名)										株式会社A																																			
担当情報										担当情報																																			
項目名										記入欄																																			
担当部署名										環境部																																			
担当電話番号										03 - 5678																																			
電子メールアドレス										XXX@yyy.zz																																			
無効化口座種別										J-クレジット用 無効化口座																																			
無効化クレジット量(t-CO2)										100																																			
用途										<input checked="" type="checkbox"/> カーボン・オフセット (CSR、寄付行為等含む) <input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法(温対法) <input type="checkbox"/> 省エネルギー法(省エネ法) <input type="checkbox"/> 低炭素社会実行計画 <input type="checkbox"/> ASSET事業(環境省)																																			
無効化の目的										クレジット利用法人名																																			
※500文字以内(改行含む) ※改行は1文字分としてカウントされます ※誰が、いつ、何を、何のために無効化するのかを明記してください										※500文字以内 ※通知書には出力されません ※原則1社のみ																																			
① A社が2016年度に...										A社																																			
② B社の2016年度の温対法...										B社																																			
③ 下記記入例を参照してください										低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなどに利用する法人名を記述してください。ただし、無効化通知書に利用法人名は転記されませんので必ず「無効化の目的」欄に利用法人名を記載ください。																																			
④ 複数件の無効化を申請する場合には、各行に1件ずつ記入し、シート【02_クレジット総量指定方式】又は【03_クレジットシリアル番号指定方式】の「無効化の目的 該当番号」に、こちらの番号を記入してください。										シート【03_クレジットシリアル番号指定方式】を記入してください。																																			
※ 網掛け部										網掛け部																																			
申請受付番号										申請受付番号																																			
受付日1										受付日1																																			
受付日2										受付日2																																			
実施日										実施日																																			
確認日										確認日																																			
こちらには記入しないでください。										押印																																			

<無効化の目的 記入例>

用途	目的	無効化目的の記入例
カーボン・オフセット (CSR、寄付行為等含む)	製品のオフセット イベントのオフセット 企業のCSR報告 寄付型オフセット	XXXX年度に販売した製品Aの製造に伴う排出量を〇〇会社がオフセットするため △△会社がXXXX年YY月に実施するイベントの開催に伴う排出量をオフセットするため □□会社のXXXX年度の排出量の一部をオフセットするため(CSR報告) ××会社がXXXX年度に実施する商品Aの販売代金の一部をクレジット購入費用に充当する寄付型オフセット
地球温暖化対策推進法(温対法)	温対法の排出量調整 電気事業者の排出係数調整 メニュー別の排出係数調整	〇〇会社のXXXX年度の温対法報告における排出量調整のため △△会社のXXXX年度の温対法報告における電気事業者ごとの調整後排出係数の調整のため □□会社のXXXX年度の電力メニューAにおける調整後排出係数の調整のため
低炭素社会実行計画 ASSET事業(環境省)	低炭素社会実行計画の目標達成 IVERの発行	〇〇会社が所属する△△業界の低炭素社会実行計画の目標達成のため 〇〇会社の環境省ASSET事業でのIVER発行のため

J-クレジット登録簿システム 無効化申請書

ページ/総ページ数

ページ数は忘れずにご記載ください。

1 / 1

無効化クレジット情報(クレジット総量指定方式)

項番	制度記号	クレジット種別	発行約定期間	適用約定期間	クレジット認証番号	クレジット量(t-CO2)	無効化の目的 該当番号
	プロジェクト名						
1	JC	ER	01	01	100101	50	①
2	JC	ER			100102	50	②
3			01	01			
4			01	01			
5			01	01			
6			01	01			
7			01	01			
8			01	01			
9			01	01			
10			01	01			

制度記号は、「01_無効化申請書」の無効化口座種別を選択した後に、入力できるようになります。

J-VERの無効化時には、プロジェクト名を記載ください。

クレジット認証番号が異なるクレジットを同時に無効化することも可能です。

無効化の目的と対応する番号を記入してください。

クレジット量の合計は、「01_無効化申請書」の無効化クレジット量と一致させてください。

無効化クレジット量合計 100

J-クレジット登録簿システム 無効化申請書

ページ数は忘れずにご記載ください。

無効化クレジット情報(クレジットシリアル番号指定方式)

項番	制度記号	クレジット特定番号(FROM)	~	クレジット特定番号(TO)	クレジット量(t-CO2)	無効化の目的 該当番号
プロジェクト名						
1	JC	4 0 0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 0 - 1 0 0 0 - 0 0 0 1	~	4 0 0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 0 - 1 0 0 0 - 0 0 5 0	50	①
2	JC	4 0 0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 1	~	0 0 0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 1 - 1 0 0 0 - 0 0 5 0	50	②
3	-	-	~	-	-	-
4	-	-	~	-	-	-
5	-	-	~	-	-	-
6	-	-	~	-	-	-
7	-	-	~	-	-	-
8	-	-	~	-	-	-
9	-	-	~	-	-	-
10	-	-	~	-	-	-

制度記号は、「01_無効化申請書」の無効化口座種別を選択した後に、入力できるようになります。

J-VERの無効化時には、プロジェクト名を記載ください。

シリアルを入力することで、クレジット量は自動計算されます。

無効化の目的と対応する番号を記入してください。

クレジット量の合計は、「01_無効化申請書」の無効化クレジット量と一致させてください。

無効化クレジット量合計 100